

おひざにだっこでおはなししましょう ~読み聞かせ、どうしてる?~

【場面設定】対象者：2歳児の保護者，場所：〇〇保育所，時間：60分，

※図書館司書又は読書ボランティアの方と一緒に進める。

作成班

G

【ねらい】読み聞かせの悩みや工夫などの交流を通して、自分の読み聞かせを振り返るとともに、それぞれの実情に応じてこれからの読み聞かせに活かそうとする。

【準備物】主催者：名札、ワークシート、アンケート用紙、筆記用具、絵本

参加者：15名

時間	アクティビティの展開例	留意点	備考
(分)	名札付け(来た順に)	・全員が名札をつける。(ニックネーム可) ・親子で安全に参加できる「場づくり」に留意。	
5分	ファシリテーター 自己紹介 指説明 簡単に図書館職員を紹介	・写真の了解をとる	
10分	アズブレク 手遊び歌「おれんやいて」 じゃんけん列車でグループ分け	家に帰って子供と楽しめる歌を紹介。 (「おれん」を「ホットケーキ」など色々かえることが できるので、子供の好きな食べ物でやっても良い)	
5分	タイトル・ねらいを読み 「マカ」を読んで「考えましよう」を黙読 かみしに記入する。	ねらいを読んで目的を明確にする。	
5分	グループで話し合う	3つの約束 参加者の自己紹介も入れる	
10分	司書さんに話を聞いてもらう 司書さんの自己紹介 「絵本と子供」	・幼児にとっての絵本 ・絵本を選ぶポイント	↑ 話し合いだけではまだ 悩みの残っている人が 司書さんの話でさらに ヒントをもらえるようにする。
10分	「考えましよう、出し合いましよう」 表に記入しおから... グループで話し合う。 (音韻でも良いか、例から選ぶか、 良いのは...)	司書さんのアドバイスも聞いたうえで、 もと読み聞かせを楽しんでいけるように 工夫を出し合ってもらおう。	
5分	全体発表		
5分	「振り返りましよう」 記入 ファシリテーターの話 リーフレットなどの紹介 アンケート	絵本の前に大切なのは、子どもに話しかけること やりとりの繰り返して言葉覚え、体験が あるから絵本も楽しめる。 市内の図書館やお話しの紹介。	

<メモ>